



## 支援者の方々との繋がり

こどものうち八栄寮 施設長 大村 正樹



コロナ禍になって2年になろうとしている。4回目の緊急事態宣言が解除され、少しずつ、普通の生活に戻ってきている。しかし、再び感染が拡大する心配がある。まだまだ気を緩めることはできない。

コロナ禍になって、今まで普通に顔を合わせていた方と顔を合わせる事が難しくなった。

そんな中でも、八栄寮の子ども達のことを思い、できる形で、多くの方が変わらぬ応援をしてくださった。

ある方からは、「チューリップの球根の寄附を希望されている方がいる」と、約300個の球根をとどけてくださった。春には、たくさんのチューリップの花が咲き、その中で小さい子ども達が遊んでいた。

八栄寮内にある物置が壊れてしまい、ボランティアで修理をしてくださった方もいる。八栄寮の職員と一緒に、見違えるほど、りっぱな物置に作り直してくださった。

施設を退所した子ども達にと、沢山のお米を寄附してくださった方もいた。早速、退寮生に連絡をとったら、即答で「ほしい」との返事。久しぶりに顔を合わせることができ、元気に働いていることに安堵の気持ちを覚えた。

クリスマスには毎年子どもと交流をしてくださっていた方たちがいる。去年は感染予防のために交流は中止。しかし、サンタさんの恰好をして、プレゼントを届けに来てくださった。今年のクリスマスはどんな応援ができるだろうかと、すでに何人もの方から連絡をいただいている。

このほかにもたくさんの方がコロナ禍にもかかわらず、八栄寮を応援してくださっている。コロナ禍が収束したときには、みなさんとの今まで以上の繋がりを作っていきたい。

## 沢山の人から支えられ、今がある

こどものうち八栄寮 栄養士 小野久美子



私は八栄寮に勤めて30年以上になりますが、その頃からお付き合いをしている業者さんがいます。長塚商店さん、小山乳業さん、増田禎司商店さんです。私が入職する前から、長塚商店さんは生鮮野菜を納品して頂き、小山乳業さんは乳製品を、増田屋禎司商店さんは冷凍食品を納品して頂いています。昭和、平成、令和と時代が変わり、いろいろと納品の仕方等にも変化がありますが、臨機応変に対応して頂けるので本当に感謝しています。そして行事等では、モスバーガー八王子みなみ野店さんに20年以上お世話になっていました。行事納品だけでなく、子どものバイト等でもお世話になり、お世話になった子どもが結婚し、子どもを産んだ後も繋がりを持って頂いたりしています。

今回は、一部の業者さんを紹介させて頂きましたが、この他にもたくさんの納品業者さん（現在主要10業者）、寄附の団体、個人的に支援をして頂いている方々がいます。

最後にタイトルですが、私が入職した当時の施設長から言われた言葉です。その施設長からはもう1つ『毎日食事ができることへの感謝の気持ちを忘れない』という言葉もありました。これからも、この言葉を忘れずに務めていきたいと思えます。



## お散歩でのふれあい



こどものうち八栄寮 保育士 風間智恵子

日中保育（寮内保育）の子どもたちは一年を通してたくさんお散歩に出かけます。その中で地域の方々が自分の孫をかわいがる様に優しく温かく接して下さいます。私自身、長く日中保育の担当をしてお顔見知りのご近所さんも増えました。少しだけお散歩エピソードを書かせてい

たきます。

今日も「いってきまーす」と元気いっぱい。Sちゃんが道に落ちていたドングリを見つけ、大きな声で「どんぐりころころ」を歌い始めてノリノリになったころ「おはよう、元気な声が聞こえるね」「いってらっしゃい」といつものおばちゃんが笑顔で送り出してくれました。帰りには「おかえり、どこまで行ってきたの?」「いっぱい歩いてえらかったね」と迎えてくれ、おうちではないですが「いってらっしゃい」「おかえり」といつも言ってもらえることが何とも温かい気持ちになります。



ある時はY君が自分の意が通らず大泣きし、地面にひっくり返り大暴れ。大騒ぎしながら連れ帰って来た時、「おやおやよく泣いているな〜。そんなに泣いていると山からクマが見に来るぞ」と笑われました。大騒ぎで近所迷惑になって申し訳ない気持ちでいっぱいでしたがおじさんの笑顔に私は救われた気持ちでした。AちゃんもS君くんも「クマだつて〜」となぜか嬉しそう。ついついお礼を言うと笑顔で返して下さいました。

コロナが流行る前のことですが、子ども達に「トマト食べる?」とお庭に実ったミニトマトをご馳走して頂いたことがあります。ちょっとよそ行きなはにかみ顔のUちゃんの隣で、「おばちゃん、もういっちょちょーだい」と満面の笑みで手を出しているS君に思わずみんなで大笑いしたこともありました。



なかには昔話をされる方もいて、懐かしい名前が出てくることもあります。地域の方とお話ししていると昔から八栄寮を温かく見守ってくださっている方がたくさんいること、私にも「大変なお仕事だけど頑張ってるね」と声をかけて下さり、職員のことにも応援して下さいていることをとても感じます。みなさんに支えられて子どもたちが安心して生活でき、のびのび育っていける環境がここにあることを感謝し、これからも地域の方々との繋がりを大切にしていきたいと思えます。

## 近所のおじちゃんおばちゃん的存在

こどものうち八栄寮 児童指導員 宮崎美公 / ソーシャルワーカー 西川翼

八栄寮のショートステイでは、保護者の方に様々な事情(傷病、出産、仕事、育児疲れ等)がある際にお子さんをお預かりしています。最初はみんな緊張の面持ちですが、いざ利用してみると、安心しましたと言ってもらえます。

利用中の子ども達は、宿題(平日)・おやつ・遊び・ご飯・お風呂・就寝といった流れで一日を過ごします。八栄寮には自然豊かな敷地があるので、グラウンドでサッカーやバドミントンをしたり、林の散策、四季折々の虫探し等、沢山体を動かして遊んでいます。リピーターの子も多く、すっかり八栄寮に慣れている子がいたり、利用する子同士が顔なじみになったり、八栄寮の入所児とも仲良くなる子もいたりします。

利用の際はご本人以外の緊急連絡先をお聞きしていますが、「いません。」と答える方が多く子育ての孤立化を感じます。ひとりで、家族だけで頑張ろうとしなくていいよと伝えていきます。隣のおじちゃんおばちゃん、お兄さんお姉さんとして一緒に子ども達の成長を喜び、一緒に子育てをしていける存在でありたいと思っています。

## リフレここのえに赤ちゃんが来ました！

リフレここのえ 施設長 横井 義広



リフレここのえ入所者の出産は2例目になります。職員も以前のように「自分の宿直の時に産気づいたらどうしよう」のような不安はありませんでした。毎週病院にお母さんに付き添う職員からの報告で、「おなかの赤ちゃんは〇〇グラムになりました。子宮口が〇センチ開いているので、いつ頃に出産予定です」というのも冷静に受け止められるようになっています。出産について研修を受けた内容を職員の打ち合わせで読み合わせし、普通のお産の経過と普通でない状況の再確認などの復習をしてきました。

リフレここのえの産前・産後母子支援は、「SUN・SUN・SMILE（サンサンスマイル）プログラム」という名称です。コンセプトは、

- ・母を幸せにすればおすそわけが子どもにいく
- ・ひとりで子育てなど出来る人はいない
- ・たくさんの人に抱っこされると子どもは幸せになる

というものです。

お母さんは、まだ小さな赤ちゃんを抱っこして、出産後6日で帰ってきました。たくさんの職員がおめでとうの言葉と花束でお出迎えをしました。また新しい仲間が増えました。



## スキルアップをめざして

リフレここのえ 母子支援員 小幡 美智子

リフレここのえでは、リフレの職員だけではない様々な方がお母さんや子ども達に関わってくださっています。定期的に関係機関へ訪問していただき、職員とは違った専門家からの視点で、お母さんたちの抱える悩みや辛さを聞き、私たち職員とも連携して頂いています。助産師の方に訪問して頂いた時には、全ての時間ではありませんが職員も同席し、お母さんたちに話しかけ接している所を学ばせてもらっています。助産師の方がお母さんたちの普段とは違う表情を引き出している様子を見るたびに、尊敬の念が深まります。

私はリフレここのえの職員になって3年目。まだまだ自分なりの引き出しが少なく、お母さんたちの悩みなどにどこまで寄り添えているのかと悩む時もあります。こうやって同席させていただく時をチャンスとし、自分の引き出しをたくさん持っている職員を目指し頑張りたいと思います。

## リフレここのえ行事報告

今年もリフレの子ども達は行事を通じてたくさんの思い出を作りました。行事のたびに一まわり成長して、みんな頼もしい顔つきになっています。



キャンプ



料理教室



スイカ割り



川遊び



高尾山遠足



子育て応援ひろば  
**てんとうむし**  
社会福祉法人同胞援護婦人連盟



てんとうむし担当 内藤珠美

子育て応援ひろば「てんとうむし」では毎月ネイリスト松井さんにボランティアで来てもらっています。子どもが生まれてから初めてネイルをしました、と嬉しそうなママ、綺麗になった爪をみてママの表情も明るくなります。毎日小さな子どもと常に一緒の中、ママの顔から女性の顔になれる貴重な癒しの時間になっています。

てんとうむしさんの活動にネイリストとして参加させていただいていることに感謝申し上げます。

てんとうむしさんの空間には、いつも皆様の明るい声と笑顔があります。母となり忙しい日々の中でも、美容の施術を受け綺麗になることは気分が上がり女性にとって大切な時間ではないでしょうか。「お母様の笑顔」が「お子様の笑顔」に繋がると思います。ネイルを通じてお母様方の心が晴れるような癒しと、幸せをお届けできましたら幸いです。

ネイリスト 松井あさみ



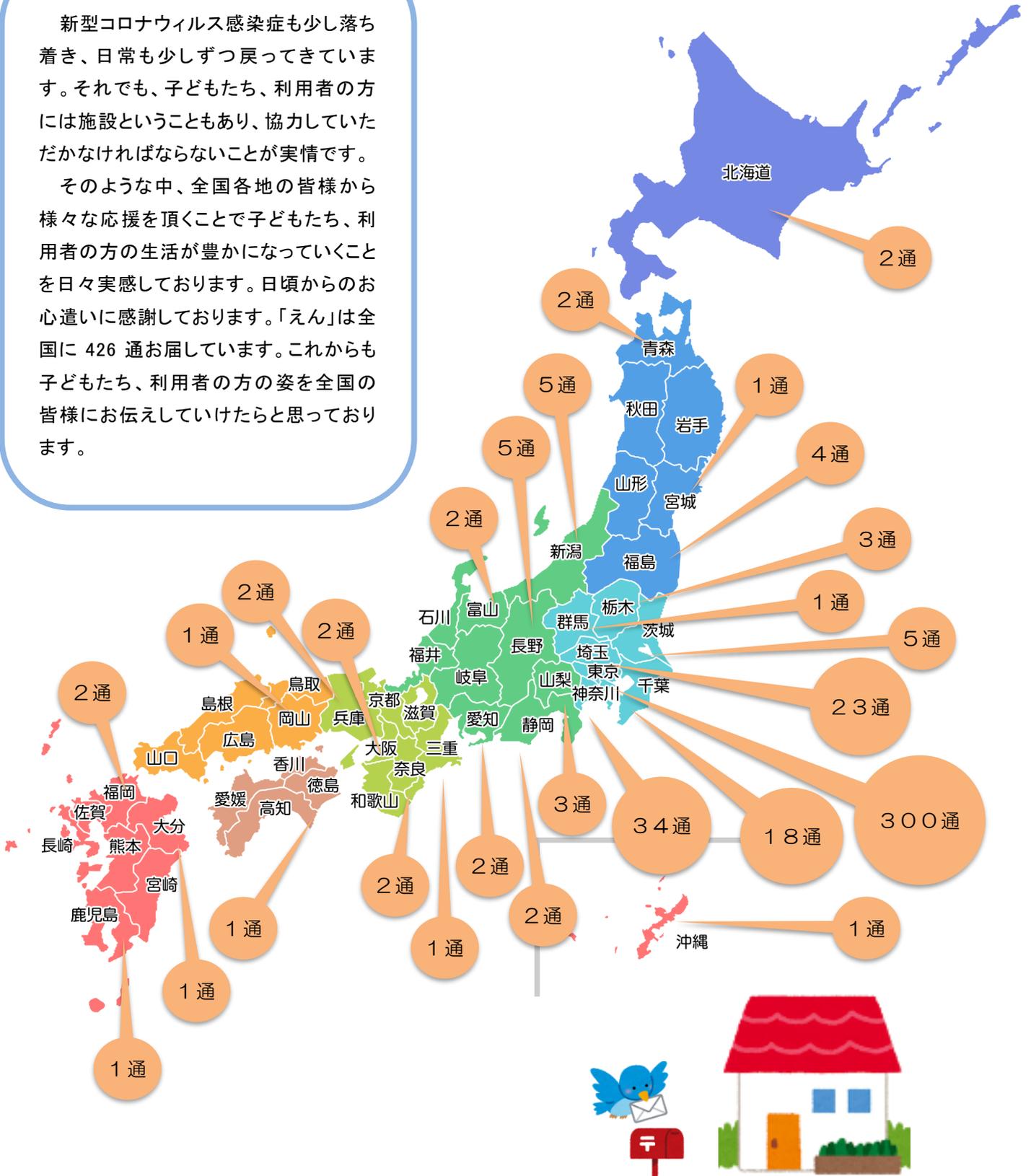
「てんとうむし」活動の様子



## いつも温かいご支援ありがとうございます！

新型コロナウイルス感染症も少し落ち着き、日常も少しずつ戻ってきています。それでも、子どもたち、利用者の方には施設ということもあり、協力していただかなければならないことが実情です。

そのような中、全国各地の皆様から様々な応援を頂くことで子どもたち、利用者の方の生活が豊かになっていくことを日々実感しております。日頃からのお心遣いに感謝しております。「えん」は全国に426通お届けしています。これからも子どもたち、利用者の方の姿を全国の皆様にお伝えしていけたらと思っております。



## いつもお世話になっている方に 温かいメッセージを頂きましたので ご紹介させていただきます。



10年ほど前、恥ずかしながらそれまで“孤児院”のイメージしかなかった児童養護施設についてたまたま知る機会があり、親と共に暮らすという当然のことができない子供が多くいることを知らされました。

それ以来、誠にささやかではありますが施設の皆様の一助となればと、思っておりました。この3月で会社定年となりますので、今後は何か直接お手伝いする機会があればと思っております。

大石悦郎様より

## スズムシを頂きました。

退寮生とご家族がスズムシを届けに来てくれました。ご自宅で育てて3年目とのこと。

きれいな音色に引き寄せられ虫が大好きなK君を始めたくさんのお子どもたちが興味津々。みんな順番にナス、キュウリ、カブ、カツオブシをあげ、「羽を広げて鳴いてたよ!」「おひげがまっしろだね」と目をまん丸くしておしゃべりしていました。

退寮されてから7年たった今でも八栄寮を応援してくださっていることに感謝しております。



※プライバシー保護のため、写真は加工しています。

[各施設在籍者・利用者数]

(令和3年11月末現在)

こどものうち八栄寮	リフレここのえ	八王子市子ども家庭サービス事業利用者数
幼児 10名 小学生 16名	乳幼児 15名	令和3年6月～令和3年11月末
中学生 9名 高校生 11名	小学生 11名	ショートステイ 317名
		トワイライトステイ 40名
		合計 357名
【計46名】	【計17世帯43名】	

## 子ども達と関わる事が好きな方、やりがいのある仕事に興味のある方 私たちと一緒に働きませんか？

今年度入職したフレッシュな新任職員からのメッセージです。

仕事の悩みも今日のお昼ご飯のことも話せる、いい雰囲気職場です！子どもが「ここに来る時は不安だったけど、今は違う」と言ってくれた時に、大きなやりがいを感じました！

リフレここのえ 少年指導員 星野大河

子ども達と日々関わる中で大変なこともあります。時々心温まる言葉を子どもの方からくれる事や、どんな時でも先輩職員が親身になって相談に乗ってくださる事で、私自身前向きに、楽しく働くことができています。一緒に八栄寮で働ける方、心よりお待ちしております。

こどものうち八栄寮 児童指導員 山下綾香

直接子どもと関わる仕事だけでなく、施設全体で子どもたちが安心して生活できるように環境作りをする間接的な仕事もあります。分からないことや困った時は先輩職員が親身に話を聞いてくれます。

こどものうち八栄寮 児童指導員 波多野俊太

**随時見学をおこなっています。関心のある方は直接お電話ください。**



職員インタビューが満載です！是非ご覧ください。



エントリー募集中です！！

～子どもたちのしあわせのために～

- 1 郵便振替 : 社会福祉法人同胞援護婦人連盟 00110-1-499359
  - 2 ゆうちょ銀行 : 社会福祉法人同胞援護婦人連盟 019店 当座 0499359
- ・折り返し当法人からの領収書をお送りします。
  - ・社会福祉法人に対するご寄附は確定申告で所得控除の対象になります。
  - ・住民税控除についてはお住まいの区市町村へお問い合わせください。

### 社会福祉法人同胞援護婦人連盟

児童養護施設 こどものうち八栄寮  
母子生活支援施設 リフレここのえ  
八王子市 子ども家庭サービス事業

〒193-0944 東京都八王子市館町 2232-1  
Tel:042-661-5891 Fax:042-667-0006  
<http://www.doenfujin.jp>

### 編集後記

今月号のテーマは「いつも応援ありがとうございます」です。コロナ禍により会うことが難しい日々ですが、皆様の温かい応援が伝わり、子どもたち、利用者の方、職員も毎日を充実して過ごしています。新型コロナウイルスが落ち着いたらまた、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

【広報誌担当 鈴木奈津実・馬淵将吾・野島未央花】

ご意見・ご感想・ご質問を法人宛のお手紙または FAX でぜひお寄せ下さい。お待ちしております。